

参考資料 2 平均余命の年次推移 (単位：年)

年次		男					
西暦	和暦	0歳	20歳	40歳	65歳	75歳	90歳
*1947	*昭和22	50.06	40.89	26.88	10.16	6.09	2.56
48	23	55.6	43.6	29.1	12.0	8.0	...
49	24	56.2	44.3	29.2	11.7	7.6	...
50	25	58.0	45.3	29.4	11.5	7.6	...
*1950-1952	*25-27	59.57	46.43	29.65	11.35	6.73	2.70
1951	26	60.8	47.9	31.4	...	...	...
52	27	61.9	48.0	30.9	12.5	8.4	...
53	28	61.9	48.0	30.6	11.9	7.6	...
54	29	63.41	48.87	31.45	12.88	8.20	...
*1955	*30	63.60	48.47	30.85	11.82	6.97	2.87
56	31	63.59	48.21	30.45	11.36	6.26	...
57	32	63.24	47.87	30.04	11.01	6.27	...
58	33	64.98	49.19	31.29	12.12	7.33	...
59	34	65.21	49.31	31.30	11.91	6.81	...
*1960	*35	65.32	49.08	31.02	11.62	6.60	2.69
61	36	66.03	49.58	31.44	11.88	6.69	...
62	37	66.23	49.44	31.19	11.55	6.33	...
63	38	67.21	50.10	31.79	12.10	6.84	...
64	39	67.67	50.33	31.96	12.19	6.92	...
*1965	*40	67.74	50.18	31.73	11.88	6.63	2.56
66	41	68.35	50.78	32.33	12.42	7.11	...
67	42	68.91	51.06	32.56	12.50	7.11	...
68	43	69.05	51.17	32.61	12.48	7.03	...
69	44	69.18	51.24	32.71	12.53	7.11	...
*1970	*45	69.31	51.26	32.68	12.50	7.14	2.75
71	46	70.17	52.05	33.42	13.08	7.54	...
72	47	70.50	52.33	33.67	13.25	7.57	...
73	48	70.70	52.46	33.74	13.22	7.44	...
74	49	71.16	52.79	33.99	13.38	7.55	...
*1975	*50	71.73	53.27	34.41	13.72	7.85	3.05
76	51	72.15	53.60	34.68	13.91	7.97	...
77	52	72.69	54.07	35.12	14.29	8.23	...
78	53	72.97	54.32	35.32	14.40	8.26	...
79	54	73.46	54.72	35.70	14.75	8.54	...
*1980	*55	73.35	54.56	35.52	14.56	8.34	3.17
81	56	73.79	54.95	35.88	14.85	8.55	3.28
82	57	74.22	55.33	36.24	15.18	8.79	3.28
83	58	74.20	55.25	36.20	15.19	8.74	3.21
84	59	74.54	55.56	36.47	15.43	8.89	3.27
*1985	*60	74.78	55.74	36.63	15.52	8.93	3.28
86	61	75.23	56.15	37.02	15.86	9.24	3.38
87	62	75.61	56.50	37.35	16.12	9.43	3.51
88	63	75.54	56.40	37.24	15.95	9.26	3.31
89	平成元	75.91	56.74	37.56	16.22	9.52	3.44
*1990	*2	75.92	56.77	37.58	16.22	9.50	3.51
91	3	76.11	56.90	37.70	16.31	9.59	3.37
92	4	76.09	56.91	37.70	16.31	9.61	3.30
93	5	76.25	57.02	37.80	16.41	9.74	3.60
94	6	76.57	57.35	38.13	16.67	9.96	3.73
*1995	*7	76.38	57.16	37.96	16.48	9.81	3.58
96	8	77.01	57.71	38.48	16.94	10.25	3.83
97	9	77.19	57.86	38.62	17.02	10.29	3.81
98	10	77.16	57.85	38.66	17.13	10.43	3.86
99	11	77.10	57.74	38.56	17.02	10.28	3.76
*2000	*12	77.72	58.33	39.13	17.54	10.75	4.10
01	13	78.07	58.64	39.43	17.78	10.95	4.19
02	14	78.32	58.87	39.64	17.96	11.07	4.29
03	15	78.36	58.89	39.67	18.02	11.09	4.26
04	16	78.64	59.15	39.93	18.21	11.23	4.36
*2005	*17	78.56	59.08	39.86	18.13	11.07	4.15
06	18	79.00	59.49	40.25	18.45	11.31	4.32
07	19	79.19	59.66	40.40	18.56	11.40	4.40
08	20	79.29	59.75	40.49	18.60	11.40	4.36

あなたの寿命は？

平成20年の生命表をみる！

西成区の余命は、日本全体より3〜4年短く、野宿はさらに短い

「まだまだ先は長い」それとも、「もう先は知れてる」

どのような根拠があつてそういわれているのか、あるいは、どのような計算で算出されているのか、よく分かりませんが、「平均余命」という数字があります。

左の表は、その年次推移です。

1950（昭和25）年生まれの人、当時の計算では、平均余命は58年と計算されていきました。今年60才です。当時の計算からすれば、お釣りが出ている

51歳71才です。生まれた時の平均余命58年より、

1970（昭和45）年生まれの人、当時の計算では、平均余命は69年と計算されていきました。20年間で平均余命は、11年伸びたことになります。

面白いことに、1970（昭和45）年に20才の人（よ

うするに、昭和25年生まれで、昭和45年まで生き延びていた人）の平均余命は、51年となっています。20才

51歳71才です。生まれた時の平均余命58年より、

1970（昭和45）年生まれの人、当時の計算では、平均余命は69年と計算されていきました。20年間で平均余命は、11年伸びたことになります。

面白いことに、1970（昭和45）年に20才の人（よ

うするに、昭和25年生まれで、昭和45年まで生き延びていた人）の平均余命は、51年となっています。20才

注：1）*印は完全生命表、その他は簡易生命表による。
2）昭和46年以前は、沖縄県を除く値である。
3）「…」は表章されていない。

13年も伸びていることになります。

1950年生まれの方は、生まれた年での計算では、平均58歳まで生きるということでしたが、1950年生まれの人で20歳まで生きのびた人は、そこから51年、71歳まで生きるのが平均的だ、というわけです。

表の1990（平成2）年の欄を横に見て、40歳のところの平均余命を見ると、37年となっています。1950年生まれの人で40歳まで生きのびた人は、そこから37年、77歳まで生きるのが平均的だ、というわけです。

表には、50歳、60歳の欄はありませんが、下の表によると、2006（平成18）年時点で、55歳だった人の平均余命は26年、60歳の平均余命は22年となっていますから、1950年生まれの、現在時点での平均寿命は、80歳を越えているのは確実だと思われます。余命20数年というわけです。

人の生き死は、個別のもので、百まで生きる人もあれば、新生児で死ぬ人もいます。

60歳まで生きてても、明日死ぬ人もいれば、今後20年、30年と生き延びる人もいます。だけど、平均は、あと20年。

アナタの年齢の平均余命は、後何年でしようか。多分、20年強。その期間をどう生きるか、生活保護を活用して、じつくり考えてみませんか。

表1 主な年齢の平均余命
（単位：年）平成18年計算

年齢	男	平均寿命
0歳	79年	79歳
5歳	74.3年	79.3歳
10歳	69.34年	79.34歳
15歳	64.38年	79.38歳
20歳	59.49年	79.49歳
25歳	54.66年	79.66歳
30歳	49.83年	79.83歳
35歳	45.02年	80.02歳
40歳	40.25年	80.25歳
45歳	35.56年	80.56歳
50歳	31年	81歳
55歳	26.6年	81.6歳
60歳	22.41年	82.41歳
65歳	18.45年	83.45歳
70歳	14.69年	84.69歳
75歳	11.31年	86.31歳
80歳	8.45年	88.45歳
85歳	6.09年	91.09歳
90歳	4.32年	94.32歳
95歳	3.08年	98.08歳
100歳	2.2年	102.2歳

生活保護は、無差別平等、困窮の事実に基づいて、誰でも（永住権を持つ外国人を含む）活用することが出来ます。

65歳以上でなければ、あるいは病気でなければ受けられない、というのはウソです。

大阪市立更生相談所（市更相）は、阪堺線の東側、公衆便所横のガードを東に抜けて、交差点を渡ったところにある建物です。

医療センター（大阪社会医療センター）は、「ある時払いの催促無し」、借用書で受診できる医療機関です。市更相あるいは西成労働福祉センターで診療依頼券をもらってから行く必要があります。

医療センターは、センターの建物外の東側に入り口があります。

「自助努力援助のための手引き書—生活保護は怖い」（無料）をまだ受け取っていない人は、声を掛けてください。